

文部科学省「組織的大学院教育改革推進プログラム」「理工横断型人材育成システムの再構築」
(略称 大学院 GP) による大学院生国際会議または国内会議派遣事業実施要綱

(目的)

第1 大学院 GP により大学院の学生を国内外で開催される学会会議へ派遣し、国際的視野を有する優秀な理工横断型人材の育成を図る。

(学会会議)

第2 国際(または国内)学術研究機関が主催し、特定の主題について、研究者が学術的発表及び討議を行うことを直接の目的とする会議であること。

(資格)

第3 首都大学東京大学院理工学研究科 数理工学専攻、電気電子工学専攻および機械工学専攻の大学院生(又は東京都立大学大学院理学研究科、工学研究科、首都大学東京大学院理学研究科、工学研究科に在籍する 上記3専攻の大学院生)であり、次の要件を満たす者とする。

- (1) 学業成績が優秀であること。
- (2) 国内外学会会議において、口頭発表若しくは第一著者としてポスター発表を行うなど重要な役割を果たすことにより、教育研究上大きな成果が期待されること。

(申請)

第4 本事業は公募により行う。

本事業への申請を希望するものは、参加計画書に必要書類を添付の上、理工学研究科長に提出すること。

(選考・決定)

第5

- (1) 申請のあった国際(または国内)学会会議派遣候補者については、各申請に対して、理工学研究科長が指名する者で構成する選考委員会において選考を行う。
- (2) 選考にあたり以下の条件を満たす申請を優先して採用する。各基準間の優先順位は特に定めない。
 - (ア) 申請が理工横断型人材育成の理念に沿ったものであること
 - (イ) 発表の対象となる研究が優れていること
 - (ウ) 該当者本人による発表であること
 - (エ) 参加する会議等の国際的位置づけ
 - (オ) 博士前期課程もしくは博士後期課程の学生であること
- (3) 理工学研究科長は、選考結果に基づき派遣学生を決定する。
- (4) 理工学研究科長は、派遣学生を決定したときは、指導教員を通じて本人に通知する。

(派遣・研修期間)

第6 会議の開催日数等に、往復に要する日数を加えたものとする。国際会議の前後に研究機関等の訪問を行う場合には、それに要する日数を加えたものとする。

(所要経費)

第7 派遣に係る経費については、次のとおりとする。

- (1) 海外派遣学生には、予算の範囲内において、次の旅費を支給することができる。
 - (ア) 往復航空券(エコノミークラス)
 - (イ) その他必要な経費(学会参加費及び登録費、旅行保険費用は支給しない)
 - (ウ) 宿泊料
 - (エ) 予防注射料、査証手数料、空港旅客サービス施設使用料並びに入出国税ただし、旅費の支給額は、「公立大学法人首都大学東京教職員の旅費規則」(平成17年法人規則第34号)を準用(支給基準は研究員相当)して算出した額とする。
- (2) 国内会議派遣学生には、予算の範囲内において、次の経費を支給することができる。
 - (ア) 「公立大学法人首都大学東京教職員の旅費規則」(平成17年法人規則第34号)を準用(支給基準は研究員相当)して算出した旅費。
 - (イ) 宿泊料
 - (ウ) その他必要な経費

(報告書の提出)

第8 派遣学生は、帰国の日（または会議修了の日）から一か月以内に所定の様式による参加報告書を理工学研究科長宛に提出するものとする。なお、報告書の内容は本プログラムの Web ページなどで公開することを前提とする。

(その他)

第9

- (1) この要綱の実施上必要な事項については、理工学研究科長が定める。
- (2) 留学生等が、本国での研究集会に参加する場合は認めない。

附 則

この要綱は、平成 21 年 10 月 1 日から施行する。

「組織的大学院教育改革推進プログラム」「理工横断型人材育成システムの再構築」
(大学院 GP) による平成 21 年度 大学院生学術会議参加 計画書記入及び添付資料について

I 記入について

- 1 申請者氏名について、漢字、カタカナによる表記に加え、旅券(パスポート)のローマ字 (alphabet) 表記をしてください。E-mail アドレスはきちんと連絡のとれる大学メールアドレスを記入してください。フリーメールのアドレス等は安全上の理由で送受信できない場合があります。
- 2 参加予定国際 (国内) 会議名
分科会等がある場合は、備考欄にその名称を記入してください。
- 3 渡航予定期間
 - ① 日本を出発する日から、日本に帰着する日までを記入して下さい。
 - ② 泊数については、機中泊を除いた泊数を記入してください。
- 4 所要経費
 - (1) 「公立大学法人首都大学東京教職員の旅費規則」を準用します。
 - (2) 以下の点に注意してください。
 - ① 航空賃については、申請者の購入予定先で、できるだけ安価な航空費による見積額で積算する。見積書、領収書、搭乗券の半券が必要です。
 - ② 鉄道賃については、首都大学東京ー成田空港間の往復で積算する。また、通常経路により、飛行機便で到達できない都市が参加国際会議の開催地となっている場合で、鉄道を経路とする場合は、鉄道賃を加算することができる。
 - ③ 宿泊料については、機中泊を含まず、都市区分により積算する。規定額の 8 割支給を原則として支給することができる。
 - ④ 航空旅客サービス施設使用料を加算する。
 - ⑤ 予防注射、査証手数料、入出国税については、目的地により必要な場合は加算することができる。
- 5 備考
会議の前後に研究機関訪問等を計画している場合は、その旨を記載してください。

II 添付資料について

下記を各 1 部添付してください。

- 1 参加会議に関し、開催案内等 (web ページの印刷可)、日程表、パンフレット等資料
- 2 参加会議のプログラム (A4 判コピー可)。
- 3 航空賃の見積書とフライトスケジュール (搭乗日と便名の分るもの) : 未入手の場合は採択後でも可
- 4 国際会議(または研修)の前後に研究機関訪問等を計画している場合はその詳細と、訪問の許可を証明する文書等 (e-mail 可) の写し : 未入手の場合は採択後でも可。

III その他

申請者が実際に航空券を購入する際に、見積額を超過した場合でも、原則として追加支給はありませんのでご注意ください。

旅行日程表

研究科 _____ 課程 (M・D) _____ 年 _____ 専攻 学修番号 _____

会議名 _____ 申請者氏名 _____

(Name) _____

| 旅行年月日 | 日数 | 旅行先 | 旅行用務 |
|--------------|----|-----|------|
| 年 月 日～ 年 月 日 | | | |
| 年 月 日～ 年 月 日 | | | |
| 年 月 日～ 年 月 日 | | | |
| 年 月 日～ 年 月 日 | | | |
| 年 月 日～ 年 月 日 | | | |
| 年 月 日～ 年 月 日 | | | |
| 年 月 日～ 年 月 日 | | | |
| 年 月 日～ 年 月 日 | | | |
| 年 月 日～ 年 月 日 | | | |
| 年 月 日～ 年 月 日 | | | |
| 年 月 日～ 年 月 日 | | | |

1 旅行日程表は、旅行出発の日から旅行終了の日まで、旅行先が変わるごとに順を追って記入する。

2 「旅行先」は、都市名を記入する。

※海外会議派遣の場合のみ、提出。

平成 21 年度(後期)大学院 GP 大学院生学術会議参加計画書

研究科 _____ 課程 (M・D) _____ 年 _____ 専攻 _____ 学修番号 _____

e-mail

きちんと連絡のとれる大学メールアドレスを記入してください、フリーメールのアドレス等は安全上の理由で送受信できない場合があります

申請者氏名ローマ字表記
(name) _____

申請者氏名 _____ 印

指導教員所属氏名 _____ 印

| | | |
|---|------------------------|--|
| 1 | 参加予定国際(国内)会議名、研修名 | |
| 2 | 開催委員会の名称 | |
| 3 | 開催地 (国名及び都市名) | |
| 4 | 開催期間 (現地時間) | 年 月 日() ~ 年 月 日() |
| 5 | 予定参加国数 (海外会議派遣のみ) | |
| 6 | 予定参加者数 | |
| 7 | 渡航予定期間 (国内の場合、旅行期間) | 年 月 日() ~ 年 月 日() 泊 日 日本を出発する日～日本に帰着する日までを記入のこと |
| 8 | 申請者の研究発表の詳細 | 以下に関する記述を含むこと ①演題、共同発表者名②口頭、ポスターの別③口頭発表の場合は講演時間④本大学院GPにおける趣旨に合致していることの説明 |

(申請者の研究発表の詳細記入欄)

備考

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|

平成 21 年度(後期)大学院 GP 大学院生学術会議参加報告書

NO.1/2

_____ 研究科 _____ 課程 (M・D) _____ 年 _____ 専攻

申請者氏名ローマ字表記

申請者氏名

印

(name)

指導教員所属氏名

印

| | | |
|---|---------------------------------|---|
| 1 | 参加国際(国内)会議名 | |
| 2 | 開催委員会の名称 (海外派遣の場合のみ) | |
| 3 | 開催地 (国名及び都市名) (海外派遣の場合のみ) | |
| 4 | 開催期間 (現地時間) | 年 月 日 () ~ 年 月 日 () |
| 5 | 参加国数 (海外会議派遣のみ) | |
| 6 | 参加者数 | |
| 7 | 渡航期間 (国内の場合は、旅行期間) | 年 月 日 () ~ 年 月 日 () 泊 日 (国際会議派遣の場合、日本を出発する日～日本に帰着する日まで を記入すること) |
| 8 | 内容報告 | 下記及び別紙に記入のこと。 (数電機大学院 GP の趣旨に沿って申請者が国際(国内)会議において果たした役割、内容等について具体的にまとめて報告すること。) |

平成 21 年度(後期)大学院 GP 大学院生学術会議参加報告書
NO.2/2

研究科 _____ 課程 (M・D) _____ 年 申請者氏名 _____

会議参加報告書

※帰国後、速やかに数電機大学院 GP 支援事務室（8 号館 6 5 7 室）に提出すること。
原則として、参加証等、参加を示す書類を別添として提出すること。
（例：会議参加のネームプレート、現地の昼食レシート等でも可）